

2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年8月24日

会社名 チッソ株式会社 URL <http://www.chisso.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木庭 竜一
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 総務部長 (氏名) 田村 秀人 (TEL) 03 (3243) 6375

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	30,414	△18.4	31	—	△262	—	△1,573	—
2020年3月期第1四半期	37,290	1.9	△747	—	△1,065	—	△3,366	—

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期△1,467百万円(—%) 2020年3月期第1四半期△3,728百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	△10 11	—
2020年3月期第1四半期	△21 62	—

(参考) 持分法投資利益 2021年3月期第1四半期 △212百万円 2020年3月期第1四半期 308百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第1四半期	239,979	△132,372	△60.1	△926 68
2020年3月期	251,761	△130,788	△56.8	△918 29

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 △144,264百万円 2020年3月期 △142,960百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	—	—	0 00	0 00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	0 00	0 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症による影響の長期化等により、現段階では合理的な予想値の算定を行うことは困難であると判断し、未定としております。業績予想の開示が可能となった時点で速やかに公表いたします。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2021年3月期1Q	156,279,375株	2020年3月期	156,279,375株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	599,762株	2020年3月期	598,862株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2021年3月期1Q	155,680,288株	2020年3月期1Q	155,688,934株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. (要約) 四半期連結財務諸表	
(1) (要約) 四半期連結貸借対照表	4
(2) (要約) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
(追加情報)	5
(重要な後発事象)	5

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

1) 業績全般

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、経済活動が大きく抑制され、輸出や企業収益が急速に減少するなど、極めて厳しい状況で推移しました。また、国内外における感染症拡大は収束の見通しが立っておらず、景気の先行きは未だ不透明なままです。

このような状況のもと当社グループにおきましては、液晶材料分野における市場構造の変化や競争激化等の経営環境の変化に対処すべく、全社的なコスト削減や事業構造改革に取り組むとともに、電力事業においてF I T（再生可能エネルギー固定価格買取制度）活用に向けた水力発電所の改修工事計画を推進し、収益体質の強化に努めました。

当第1四半期連結累計期間の経営成績につきましては、売上高は、30,414百万円（前年同四半期比18.4%減）、営業利益は31百万円（前年同四半期は営業損失747百万円）、経常損失は262百万円（前年同四半期は経常損失1,065百万円）となりました。特別利益に投資有価証券売却益53百万円を、特別損失に水俣病補償関係損失（2020年4月1日から6月30日までの水俣病被害者への救済一時金2百万円を含む）766百万円を計上し、親会社株主に帰属する四半期純損失は1,573百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失3,366百万円）となりました。

2) セグメント別概況

① 機能材料（液晶材料等）

液晶材料は、新型コロナウイルス感染症の影響による巣籠り需要からモニター、モバイル等の中小型用液晶パネル用途の販売が増加したものの、大型テレビや車載用途等の需要が減少したほか、液晶パネルメーカーにおける事業の戦略転換による影響を受け、出荷が低調となり、売上は減少しました。

この結果、当セグメントの売上高は5,485百万円（前年同四半期比37.0%減）となりました。

② 加工品（繊維製品、肥料等）

繊維製品は、国内において除菌シート、マスク等の新型コロナウイルス感染症対策関連の需要が急速に拡大したことなどから、原綿及び不織布の出荷が伸長し、売上は増加しました。

肥料は、施肥作業の省力化が評価されている被覆肥料の出荷は堅調となりましたが、顧客の在庫調整の影響により化成肥料の出荷が低調となり、売上は減少しました。

この結果、当セグメントの売上高は14,315百万円（前年同四半期比1.8%減）となりました。

③ 化学品（アルコール、樹脂等）

オキシアルコールは、原料ナフサ価格の下落による影響で販売価格が低下したことに加え、生産設備の大型定期修理の実施により出荷が減少したことから、売上は減少しました。また、ポリプロピレンは、新型コロナウイルス感染症の影響により自動車関連の需要が低下したことから、出荷が減少しました。

この結果、当セグメントの売上高は3,351百万円（前年同四半期比47.3%減）となりました。

④ 商事

商事事業は、化学品事業と同様に新型コロナウイルス感染症の影響を受け、主力のポリプロピレンの出荷が低調となり、売上は減少しました。

この結果、当セグメントの売上高は3,982百万円（前年同四半期比30.6%減）となりました。

⑤ 電力

電力事業では、全13箇所の水力発電所について、F I T活用に向けた改修工事計画を進めており、当第1四半期連結累計期間においては、4月に8箇所目となる白川発電所の工事が完了し、新たに営業運転を開始したことから、売上は増加しました。

この結果、当セグメントの売上高は1,907百万円（前年同四半期比62.3%増）となりました。

⑥ その他（エンジニアリング等）

エンジニアリング事業は、石油化学関連設備にかかる手持案件の工事が順調に進捗し、売上は増加しました。

この結果、当セグメントの売上高は1,371百万円（前年同四半期比88.1%増）となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末と比べ11,781百万円減少し、239,979百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金の減少8,875百万円によるものです。

当第1四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末と比べ10,197百万円減少し、372,352百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金の減少6,572百万円と、未払金の減少4,073百万円によるものです。

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末と比べ1,584百万円減少し、△132,372百万円となりました。これは主に、利益剰余金の減少1,240百万円と非支配株主持分の減少280百万円によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症による影響の長期化等により見通しが不透明な状況であることから、現段階では合理的な予想値を算定することが困難であると判断し、未定としております。業績予想の開示が可能となった時点で速やかに公表いたします。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. (要約) 四半期連結財務諸表

(1) (要約) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	当第1四半期連結 会計期間 (2020年6月30日)	前連結会計年度 (2020年3月31日)	増 減	
	金額	金額	金額	増減率
(資産の部)				
I 流動資産	107,372	119,957	△12,585	△ 10.5%
II 固定資産	132,240	131,372	868	0.7%
III 繰延資産	366	431	△64	△ 15.0%
資産合計	239,979	251,761	△11,781	△ 4.7%
(負債の部)				
I 流動負債	93,579	103,962	△10,383	△ 10.0%
II 固定負債	278,772	278,587	185	0.1%
負債合計	372,352	382,549	△10,197	△ 2.7%
(純資産の部)				
I 株主資本	△155,010	△153,769	△1,240	-
II その他の包括利益	10,745	10,808	△63	△ 0.6%
III 非支配株主持分	11,892	12,172	△280	△ 2.3%
純資産合計	△132,372	△130,788	△1,584	-
負債、純資産合計	239,979	251,761	△11,781	△ 4.7%

(2) (要約) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位:百万円)

科 目	当第1四半期連結 累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	前第1四半期連結 累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	増 減		(参考) 前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
	金額	金額	金額	増減率	金額
I 売上高	30,414	37,290	△6,876	△ 18.4%	144,852
II 売上原価	24,504	31,337	△6,832	△ 21.8%	119,463
売上総利益	5,909	5,953	△44	△ 0.7%	25,388
III 販売費及び 一般管理費	5,877	6,701	△823	△ 12.3%	26,148
営業利益又は営業損失(△)	31	△747	779	-	△ 759
IV 営業外収益	349	832	△483	△ 58.1%	2,284
V 営業外費用	642	1,150	△507	△ 44.1%	2,810
経常損失(△)	△262	△1,065	803	-	△ 1,285
VI 特別利益	53	-	53	-	172
VII 特別損失	766	1,746	△979	△ 56.1%	8,541
税金等調整前四半期純損失(△)	△975	△2,811	1,836	-	△ 9,654
税金費用	417	364	53	14.6%	1,491
四半期純損失(△)	△1,392	△3,175	1,782	-	△ 11,146
非支配株主に帰属する四半期利益	180	190	△10	△ 5.3%	760
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,573	△3,366	1,793	-	△ 11,906

(四半期連結包括利益計算書)

(単位:百万円)

科 目	当第1四半期連結 累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	前第1四半期連結 累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	増 減		(参考) 前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
	金額	金額	金額	増減率	金額
四半期純損失(△)	△1,392	△3,175	1,782	-	△ 11,146
その他の包括利益					
その他有価証券評価差額金	30	30	0	△ 0.8%	56
為替換算調整額	75	△458	534	-	△ 651
退職給付に係る調整額	△74	△54	△19	-	305
持分法適用会社に対する持分相当額	△106	△69	△37	-	△ 166
その他の包括利益合計	△75	△552	477	-	△ 456
四半期包括利益	△1,467	△3,728	2,260	-	△ 11,603

(内訳)

親会社株主に係る四半期包括利益	△1,636	△3,921			△ 12,372
非支配株主に係る四半期包括利益	168	192			769

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結会計期間より、重要性の増したJNCセントラル(株)を持分法適用の範囲に含めております。この結果、当第1四半期連結累計期間において、株主資本が332百万円増加し、当第1四半期連結会計期間末において株主資本が△155,010百万円となっております。

(追加情報)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

水俣病被害者への一時金の支払について

当社は、「水俣病被害者の救済及び水俣病問題の解決に関する特別措置法」(平成21年法律第81号)及び「水俣病被害者の救済及び水俣病問題の解決に関する特別措置法の救済措置の方針」(平成22年4月16日閣議決定)に基づき、指定支給法人である一般財団法人水俣病被害者救済支援財団へ業務を委託し、2010年10月1日より水俣病被害者の方々への一時金の支払いを行なっております。今後、引き続き一時金の支払いが見込まれますが、現時点では具体的な金額については不明です。

なお、一時金の支払については「地域再生・振興及び調査研究等に係る施策並びに一時金支払に係るチッソ株式会社に対する支援措置」(平成22年4月16日閣議了解)に基づき当社に対する支援措置を講じていただいております。

令和2年7月豪雨の影響について

2020年7月に発生した熊本県を中心とした九州地方での大雨の影響により、当社グループが保有する水力発電所の一部が被災し運転を停止しておりましたが、2020年8月中旬までに全発電所の運転を再開しました。しかし、一部の発電所では完全復旧に至らず低稼働となっており、発電設備以外の被害状況全体について現在調査中であるため、復旧工事に係る費用等については現時点で未定であります。